



三菱4K液晶テレビ

カンタンサイネージ[®]

取扱説明書（ファクトリー機能編）

形名

ゼットエム エフ エス
ZM-40F9S

この「取扱説明書」は、ファクトリー機能についての取扱説明書です。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」および付属の取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は、必ずお買上げ日、販売店名または専門業者名などの記入をお確かめのうえ、販売店または専門業者からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
- 「作業支援機能」と、「アンドン機能」のプレイリスト再生をお使いいただく場合は、SDカードが必要です。
- ファクトリー機能については、縦置き設置には対応していません。

もくじ

安全のために必ずお守りください	2
同梱物を確認する	4
SDカード盗難防止カバーの取り付け	4
黒シールの貼り付け	4
ファクトリー機能について	5
アンドン機能を使用する	6
作業支援機能を使用する	9
仕様	10
保証とアフターサービス	11
修理を依頼されるときは	裏表紙



安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。



警告

【全般】

- 本機は、重大な事故の原因となるような警告装置として使用しないでください。
重要な警告を表示したり、警報を出力するような装置は、独立して冗長性があるハードウェア、または機械的なインタロックにより構成してください。
誤出力、誤動作により事故の原因になります。
- 本機でモニタしている接続機器（シーケンサなど）のプログラムやパラメータなどを変更したときは、すみやかに本機のリセット、または電源断後、再投入してください。
誤出力、誤動作により事故の原因になります。
- ネットワーク経由の外部機器からの不正アクセスに対して、本機を使用するシステムの安全を保つ必要があるときは、お客さまによる対策を盛り込んでください。
また、インターネット経由の外部機器からの不正アクセスに対して、システムの安全を保つ必要があるときは、ファイアウォールなどの対策を盛り込んでください。
- 本機で表示を行っているとき、通信異常（ケーブル抜けも含む）が発生すると、本機と接続機器（シーケンサなど）の通信が中断され、本機は動作不能となります。
本機を使用するシステムは、本機の通信異常時を想定して構成してください。

注意

【全般】

- 制御線や通信ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。100mm 以上を目安として離してください。
ノイズにより、誤動作の原因になります。
- Ethernet インタフェースを使用する場合、インタフェースごとに、それぞれ異なるネットワークになるよう、IP アドレスを指定してください。

【立上げ・保守時】

- 製品の分解、改造はしないでください。
故障、誤動作、けが、火災の原因になります。
- 製品に接続するケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。
ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのぶらつきや移動、引っ張りなどによる製品やケーブルの破損、ケーブルの接触不良による誤動作の原因となります。
- 製品に接続されたケーブルを取りはずすときは、ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。
製品に接続された状態でケーブルを引っ張ると、製品やケーブルの破損、ケーブルの接触不良による誤動作の原因となります。
- 製品は落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
製品の破損の原因になります。

【データストレージ使用時】

- SD カードを取り出す場合は、SD カードが飛び出す場合がありますので、手で支えて取り出してください。
手で支えて取り出さないと、落下による SD カードの破損、故障の原因になります。

【輸送時】

- 木製梱包材の消毒・除虫対策のくん蒸剤に含まれるハロゲン系物質（フッ素、塩素、臭素、ヨウ素など）が当社製品に侵入すると故障の原因となります。
残留したくん蒸成分が当社製品に侵入しないようにしていただくか、くん蒸以外の方法（熱処理など）で処理してください。
なお、消毒・除虫対策は梱包前の木材の段階で実施してください。

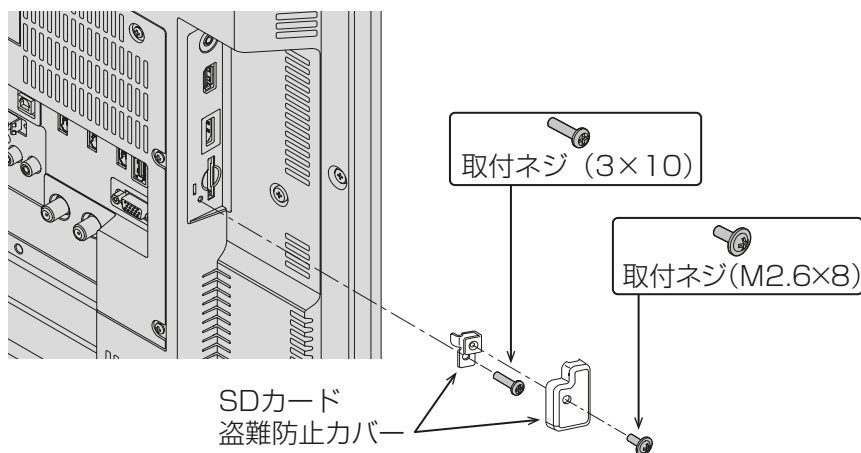
※ 設置に関する事項は、付属の取扱説明書の「安全のために必ずお守りください」をご覧ください。

同梱物を確認する

リモコン…1台 	単4形乾電池…2個 (リモコンのそばにあります) 	取扱説明書…2冊 (下側発泡材の中にあります) 
SDカード盗難防止カバー…1組 (取扱説明書と同じ袋に入っています) 	SDカード盗難防止カバー 取り付けネジ(黒) … 各1個 (取扱説明書と同じ袋に入っています) ネジA(M2.6×8) ネジB(3×10) 	黒シール(大・小) (取扱説明書と同じ袋に入っています) ● 設置時に、必要に応じてご使用ください 

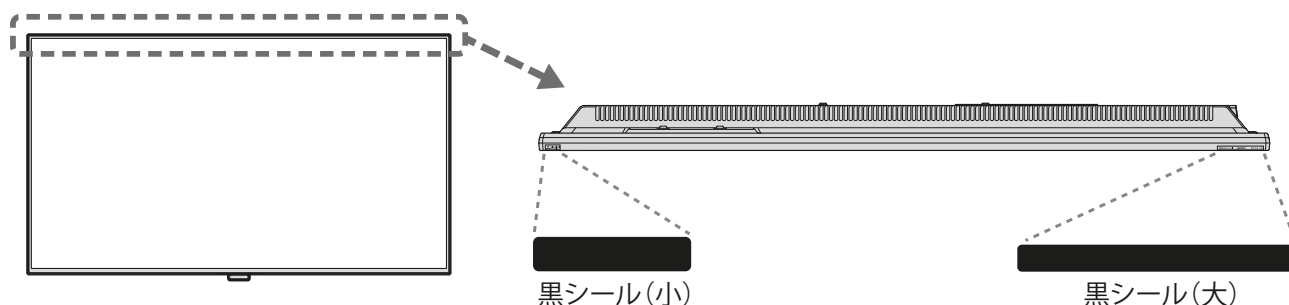
SDカード盗難防止カバーの取り付け

※取り付ける前に、使用するSDカードを挿入してください。
※ネジを締める際、斜めに締めたりしないようにご注意ください。ネジ山がつぶれて取付けできなくなります。



黒シールの貼り付け

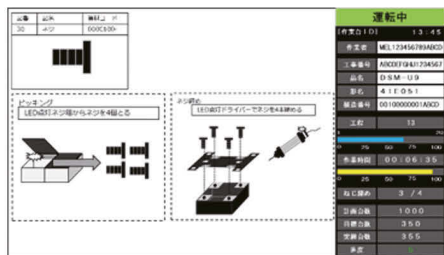
必要に応じて、下記位置に貼り付けてください。



ファクトリー機能について

ファクトリー機能にはアンドン機能と作業支援機能の2種類があります。
どちらの機能も、本機は三菱シーケンサとLAN接続でSLMP(Seamless Message Protocol)通信を行います。
動作が確認できている三菱シーケンサ製品に関しては、販売店または専門業者へお問い合わせください。

<作業支援機能>



<アンドン機能>



アンドン機能

三菱シーケンサと有線LANで接続し、シーケンサ内のデバイス値に従い、作業実績値等を表示することができます。

作業支援機能

「スマート作業ナビゲータ」システムの表示器として、三菱シーケンサと有線LANで接続し、作業指導票を表示することができます。シーケンサ内のデバイス値に従い、作業指導票のページ送りや、作業実績値等を表示することができます。

お知らせ

- シーケンサとLAN接続する機器の台数が増えると、通信速度が遅くなる場合があります。

アンドン機能を使用する

[準備 1] 三菱シーケンサと LAN で接続する

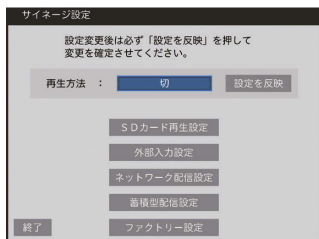
三菱シーケンサとLAN接続後、本機の電源を入れてください。

三菱シーケンサに設定している「IPアドレス」「ポート番号」「通信データコード」は後の設定で必要になりますので、事前に確認しておいてください。

[手順 1] 本機のネットワーク設定を行う

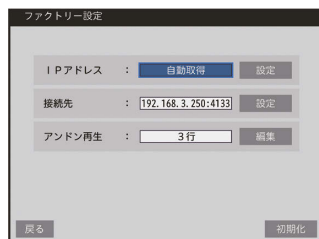
1 サイネージ を押す

- サイネージ設定画面が表示されます。



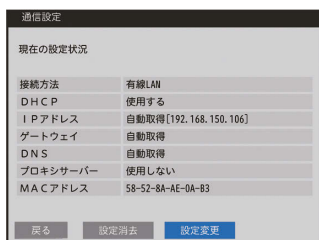
2 ▲▼で「ファクトリー設定」を選び、 を押す

- ファクトリー設定画面が表示されます。



3 ▶で「IPアドレス」の「設定」を選び、 を押す

- 通信設定画面が表示されます。



4 「設定変更」を選び、 を押す

- 設定入力画面が表示されます。

5 ネットワーク環境に合わせて、本機のネットワーク設定をする

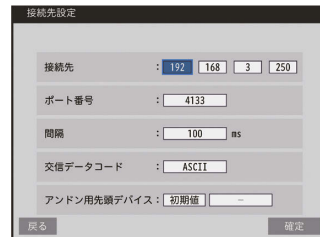
6 設定が終了したら、「戻る」を選択し、 を押す

- ファクトリー設定画面に戻ります。

[手順 2] 接続先の設定を行う


1 ファクトリー設定画面で「接続先」の「設定」を選び、 を押す

- 接続先設定画面が表示されます。




2 設定したい項目を選び、設定する



接続先

- ▲▼で「接続先」を選び、 を押す
- ◀▶でセグメントを選び、数字ボタン(0~9)で接続先(三菱シーケンサ)のIPアドレスを設定する



ポート番号

- ▲▼で「ポート番号」を選び、 を押す
- 数字ボタン(0~9)で接続先(三菱シーケンサ)のHTTPポート番号を設定する



間隔

- ▲▼で「間隔」を選び、 を押す
- ▲▼で接続先(三菱シーケンサ)へ値を取得するための問い合わせ間隔を選び、 を押す
設定値:100、500、1000、2000、4000、10000、30000、60000

通信データコード

- ▲▼で「通信データコード」を選び、 を押す
- 接続先(三菱シーケンサ)との通信データコードを選び、 を押す
設定値:ASCII、バイナリ

アンドン用先頭デバイス

- ▲▼で「アンドン用先頭デバイス」を選び、 を押す
- ▲▼で接続先(三菱シーケンサ)内のデバイスを選び、 を押す
設定値:初期値、W、D、R、ZR
- 「W」「D」「R」「ZR」を選んだ場合は、▶で右側のボックスを選び、数字ボタン(0~9)でアドレスを設定する

3 設定が終了したら「確定」を選び、**決定**を押す

- 設定内容が保存されます。

4 「戻る」を選択し、**決定**を押す

- ファクトリー設定画面に戻ります。

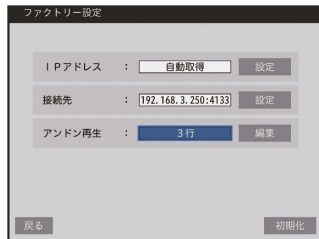
お知らせ

- 「アンドン用先頭デバイス」について
 - ・ アドレスの設定は、「65507」までです。
 - ・ 先頭デバイスの設定のみで全表示項目のデバイスが決定されます。

[手順3] アンドン再生表示パターンを設定を行う

1 ファクトリー設定画面で「アンドン再生」を選び、**決定**を押す

2 ▲▼で表示パターンを選び、**決定**を押す



「3行」の場合の例

運転中	
目標数	350
実績数	355
進捗	5

「4行」の場合の例

運転中	
計画数	1000
目標数	350
実績数	355
進捗	5

「5行」の場合の例

運転中	
形名	XXXXXXXXXX
計画数	1000
目標数	350
実績数	355
進捗	5

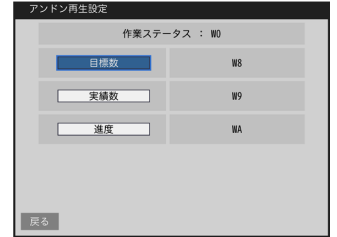
表示項目一覧

No.	項目名	デバイス	初期値	サイズ	値	説明
1	作業ステータス	先頭デバイス設定値	W0	1ワード	説明参照	下位 8bit 0= 待機中 1 1= 待機中 2 2= 待機中 3 3= 運転中 4= 停止中 上位 8bit 0= 警報なし (下位 8bit に応じて表示) 5= 軽警報 6= 中警報 7= 重警報
2	形名	+1	W69-W73	11ワード	0～20文字	現在生産中の機種 ID (ASCII 文字列)
3	製造番号	+12	W98-WA2	11ワード	0～20文字	製品固有の番号 (ASCII 文字列)
4	工程進捗率	+23	W5	1ワード	0～100%	(工程番号 - 開始工程番号) ÷ (終了工程番号 - 開始工程番号 + 1) × 100
5	計画数	+24	W8D	1ワード	0～32767台	工事番号に紐付けられた生産計画台数
6	目標数	+25	W8	1ワード	0～32767台	現時点での目標台数
7	実績数	+26	W9	1ワード	0～32767台	現時点での生産実績台数
8	進捗	+27	WA	1ワード	-32768～32767台	実績 - 目標台数 + : 緑色 - : 赤色
9	不良数	+28	W33	1ワード	0～32767台	現時点での不良数

[手順4] 表示項目の設定を行う

1 ファクトリー設定画面で「アンドン再生」の「編集」を選び、**決定**を押す

- アンドン再生設定画面が表示されます。(右の画面は、表示パターンを「3行」に設定している場合)
- [手順2]の「アンドン用先頭デバイス」で設定しているアドレスが表示されます。



2 ▲▼で設定したい表示項目を選び、**決定**を押す

3 設定が終了したら、「戻る」を選び、**決定**を押す

- ファクトリー設定画面に戻ります。

お知らせ

- 「形名」と「製造番号」の表示できる文字数は、表示パターンによって異なります。
3行: 14文字まで、4行: 18文字まで、5行: 20文字まで

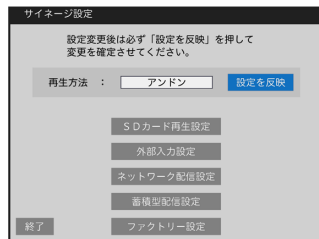
アンドン機能を使用する(つづき)

[手順5] アンドンを再生する

1 サイネージ設定画面で「再生方法」を選び、**決定**を押す

2 ▲▼で「アンドン」を選ぶ

3 ▶で「設定を反映」を選び、**決定**を押す



4 確認画面が表示されるので、「はい」を選び、**決定**を押す

- 本機が再起動し、設定が完了します。

お知らせ

- 値が表示されない場合は、接続先(三菱シーケンサ)との通信に失敗している可能性があります。接続先の状態を確認し、[手順1]と[手順2]を見直してください。
- 「再生方法: アンドン」が設定されている場合は、本機の電源が入になったときや、リモコンの「SD再生」ボタンを押すと、アンドン再生を開始します。

[必要に応じて] プレイリストを設定する

本機では、SDカード内に保存された動画、静止画とアンドン表示(3行/4行/5行)をプレイリストで順次再生することができます。

1 [手順3]で、▲▼で「プレイリスト」を選び、**決定**を押す

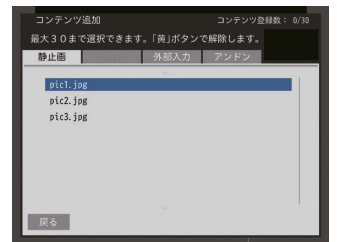
2 ▶で「編集」を選び、**決定**を押す

- プレイリスト編集画面が表示されます。



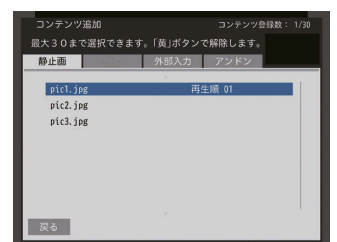
3 ▲▼で「コンテンツ追加」を選び、**決定**を押す

- コンテンツ追加画面が表示されます。



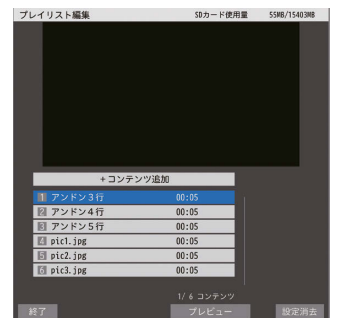
4 ▲▼◀▶で「プレイリスト」に追加したいコンテンツを選び、**決定**を押す

- 追加されたコンテンツに再生順が表示されます。



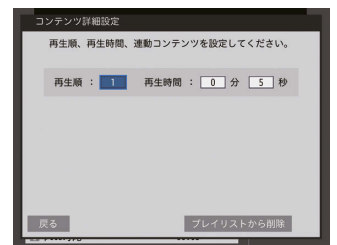
5 設定が終了したら、「戻る」を選び、**決定**を押す

- プレイリスト編集画面に戻ります。



6 ▲▼でプレイリストに含まれるコンテンツを選び、**決定**を押す

- コンテンツ詳細設定画面が表示されます。
- コンテンツ詳細設定画面では「再生順」と「再生時間」が設定でき、プレイリストからコンテンツを削除できます。



7 設定が終了したら、「戻る」を選び、**決定**を押す

- プレイリスト編集画面に戻ります。

8 「終了」を選び、**決定**を押す

- ファクトリー設定画面に戻ります。
- リモコンの「SD再生」を押すと、プレイリスト再生を開始します。

作業支援機能を使用する

[準備1] 作業指導票、作業レシピを作成する

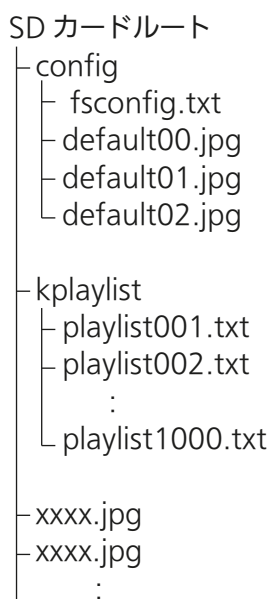
ディスプレイ用の作業指導票(静止画)と作業レシピ(プレイリスト)を作成し、SDカードに保存してください。

詳細は、販売店または専門業者へお問い合わせください。

[準備2] 初期コンテンツを作成する

必要に応じて、3種の初期コンテンツ(default00.jpg、default01.jpg、default02.jpg)を作成し、SDカード内の「config」フォルダに保存してください。

- default00.jpg
「スマート作業ナビゲータ」の電源がONになった場合に表示される
- default01.jpg
「スマート作業ナビゲータ」にユーザーがログインした場合に表示される
- default02.jpg
「スマート作業ナビゲータ」で作業レシピが選択された場合に表示される



お知らせ

- 「スマート作業ナビゲータ」でスタートボタンが押されると、[準備1]で作成した作業指導票が表示されます。
- SDカードの内のフォルダ構成は上図となります。

[準備3] 三菱シーケンサとLANで接続する

SDカードを挿入し、「スマート作業ナビゲータ」システムの三菱シーケンサと有線LAN接続後、本機の電源を入れてください。

三菱シーケンサに設定している「IPアドレス」「ポート番号」「通信データコード」は後の設定で必要になりますので、事前に確認しておいてください。

[手順1] 本機のネットワーク設定を行う

「アンドン機能を使用する」の[手順1]を参照し、本機のネットワーク設定を行ってください。

[手順2] 接続先の設定を行う

「アンドン機能を使用する」の[手順2]を参照し、本機の接続先の設定を行ってください。

[手順3] 値取得アドレスの設定を行う

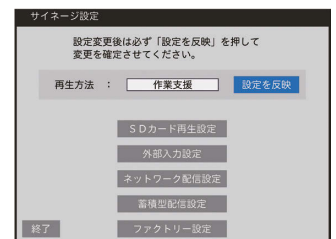
「スマート作業ナビゲータ」の三菱シーケンサに合わせた初期設定値となっていますので、設定は不要です。

[手順4] 作業支援を再生する

1 サイネージ設定画面で「再生方法」を選び、**決定**を押す

2 ▲▼で「作業支援」を選ぶ

3 ▶で「設定を反映」を選び、**決定**を押す



4 確認画面が表示されるので、「はい」を選び、**決定**を押す

- 本機が再起動し、設定が完了します。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

形名	ZM-40F9S	
種類	三菱4K液晶テレビ	
電源	AC100 V 50 / 60 Hz	
消費電力	96 W	
	リモコン待機時 0.2 W (高速起動「入」設定時 約15 W)	
年間消費電力量 ^{※1}	90 kWh / 年[標準 ^{※2} 時] 区分名 ^{※3} :DF(FHD、液晶ノーマル、付加機能なし) 受信機型サイズ:40V	
音声	実用最大出力(JEITA)	5 W+5 W
	スピーカー	(7.4 cm×3 cm)×2
アンテナ入力	VHF / UHF 1軸 75 Ω不平衡形(CATVパススルー対応)	
B S・110度 C Sアンテナ入力	75 Ω不平衡形(C15形)兼コンバーター用電源(DC 15V)出力	
受信チャンネル	地上デジタル:000 ~ 999ch BSデジタル:000 ~ 999ch 110度CSデジタル:000 ~ 999ch BS4K:000 ~ 999ch 110度CS4K:000 ~ 999ch (CATVパススルー対応:VHF:1 ~ 12ch UHF:13 ~ 62ch CATV:C13 ~ C63ch)	
液晶モジュール	液晶パネル	40V型カラー TFT液晶
	表示画素数	3840 ドット×2160 ライン
	バックライトの種類	LED
	有効表示領域	幅87.8×高さ48.5 / 対角100.3 cm
表示色	10.7億色	
ヘッドホン	φ3.5ステレオミニジャック	
ビデオ入力端子	(映像) 1.0 V(P-P) 75 Ω(同期負極性) (音声) 150 mV(rms) ハイインピーダンス ^{※5}	
D 4 映像端子	対応水平周波数15.75 kHz, 31.5 kHz, 33.75 kHz, 45 kHz Y 1.0 V(P-P) 75 Ω(同期負極性) CB/PB, CR/PR ±350 mV 75 Ω	
HDMI 1 ~ HDMI 4 入力端子	映像信号: 480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p(24Hz、30Hz、60Hz) , 3840x2160p(24Hz、30Hz) [422(36bit) , 444(24bit, 30bit, 36bit)] 3840x2160p(60Hz) [420(24bit, 30bit, 36bit) , 422(36bit) , 444(24bit)] 音声信号: PCM(48kHz, 44.1kHz, 32kHz) 著作権保護: HDCP1.4, HDCP2.2 HDMI4のみARC対応	
PC 入力端子	(映像)ミニD-SUB15ピン (音声)ビデオ入力用音声端子(L, R) と兼用	
HDMIアナログ音声入力端子	ビデオ入力用音声端子(L, R) と兼用 ^{※4}	
LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	
SDメモリーカード挿入口	SDカード、SDHCカード対応(miniSDカード、microSDカードはアダプター装着)	
USB 端子	- (サービス専用(側面) ^{※8} 、サービス専用(後面) ^{※9})	
デジタル音声(光)出力端子	角型	
外形寸法 ^{※6}	幅90.3×高さ52.4×奥行5.8 cm	
質量	12.8 kg	
キャビネット材質	PC+ABS-TD10樹脂	
壁掛け	対応	
使用周囲温度	0 °C ~ 40 °C	
許容湿度	80 %最大(結露なきこと)	
稼働時間	16時間/日 以下 ^{※7}	

リモコン	形名	RS20904
	電源	DC 3 V 単4形乾電池2個
	質量	約130 g(乾電池含む)

- ※1: 省エネ法(目標年度:平成24年度)に基づいて、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
 ※2: 一般にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定の一つです。このモデルでは、映像モード=スタンダード、視聴者設定=標準、バックライト補正=入、明るさ順応補正=中をおすすめしています。
 ※3: 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。
 ※4: HDMI2のみ対応。
 ※5: ビデオ入力用音声端子(L, R)は、ビデオ入力、D端子入力、PC入力、HDMI2アナログ音声入力を兼用しています。
 ※6: 外形寸法は、微小な突起部を含みません。
 ※7: 1日の稼働時間が16時間を超える場合は、保証対象外となります。
 ※8: USBメモリ、時刻保持ユニット、USBボタン、バーコードリーダー機器接続用。
 ※9: 時刻保持ユニット、USBボタン、バーコードリーダー機器接続用。

- テレビのV型(40V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- JIS C 61000-3-2 適合品:「JIS C 61000-3-2」適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値-高調波電流発生限度値(1相当りの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 本機のUSB端子をスマートフォン等の電源として使用すると故障の原因になります。

無線LANの仕様

規 格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac 準拠	
使用周波数範囲(中心周波数)およびチャンネル	IEEE 802.11 b/g/n	2.412 ~ 2.472GHz / 1 ~ 13ch
	IEEE 802.11 a/n/ac	[W52] 5.18 ~ 5.24GHz / 36、40、44、48ch [W53] 5.26 ~ 5.32GHz / 52、56、60、64ch [W56] 5.50 ~ 5.70GHz / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WEP(128bit/64bit)	

- ※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。
- ※ 5GHzの無線LANにおけるW52、W53の屋外使用は法令で禁止されています。

Bluetooth®の仕様

規 格	Bluetooth 2.1 + EDR 準拠
-----	------------------------

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は、必ずお買上げ日、販売店名または専門業者名などの記入をお確かめのうえ、販売店または専門業者からお受け取りください。
- 保証書は、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

製品の保証期間は、以下のとおりです。
いつから:お客様がご購入後またはご指定場所に納入後
いつまで:1年またはご使用時間5,000時間のいずれか
短い期間
(当社製造出荷後の流通期間を最大6カ月として、
製造から18カ月以内)

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」と、「使いかたガイド」の「おや?と思ったら」にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店または専門業者にご連絡ください。
- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。
- 据付(接続・調整・取扱説明等)を依頼されると有料となることがあります。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この液晶テレビの補修用性能部品を製造打切り後5年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■部品について

- 修理の際、当社の品質基準に適合した再生・再利用した部品と交換することがあります。
- 交換した部品は、お申し出のない場合、引き取らせていただきます。
- 当社指定以外の壁掛け金具やスタンド、天吊り金具をご使用の場合は保証いたしません。

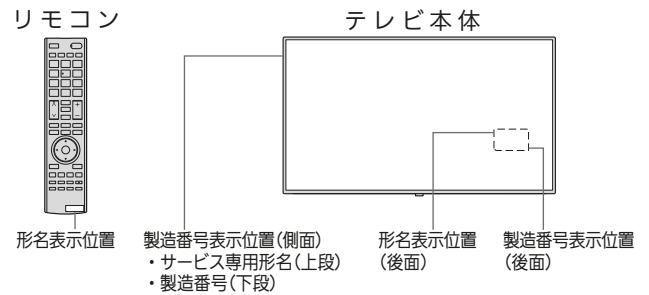
この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、必ずお知らせください。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱4K液晶テレビ
2. 形名 テレビ本体の形名表示位置をご覧ください。
3. 製造番号 テレビ本体の製造番号表示位置をご覧ください。
4. お買上げ日 年 月 日
5. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
6. ご住所 (付近の目印なども)
7. お名前・電話番号・訪問希望日
8. サービス専用形名
テレビ本体のサービス専用形名表示位置をご覧ください。



三菱電機サービスネットワーク

サービス拠点名	住所	受付電話	FAX専用
北日本支社	〒983-0013 仙台市宮城野区中野1-5-35	022-353-7814	022-353-7834
北日本支社 北海道支店	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東2-1-18	011-890-7515	011-890-7516
東京機電支社	〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15	03-3454-5521	03-5440-7783
神奈川機器サービスステーション	〒224-0053 横浜市都筑区池辺町3963-1	045-938-5420	045-935-0066
関東機器サービスステーション	〒338-0822 さいたま市桜区中島2-21-10	048-859-7521	048-858-5601
新潟機器サービスステーション	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10	025-241-7261	025-241-7262
中部支社	〒461-8675 名古屋市東区矢田南5-1-14	052-722-7601	052-719-1270
静岡機器サービスステーション	〒422-8058 静岡市駿河区中原877-2	054-287-8866	054-287-8484
中部支社 北陸支店	〒920-0811 金沢市小坂町北255	076-252-9519	076-252-5458
関西支社	〒531-0076 大阪市北区大淀中1-4-13	06-6458-9728	06-6458-6911
京滋機器サービスステーション	〒612-8444 京都市伏見区竹田中宮町8番地	075-611-6211	075-611-6330
姫路機器サービスステーション	〒670-0996 姫路市土山2-234-1	079-269-8845	079-294-4141
中四国支社	〒732-0802 広島市南区大州4-3-26	082-285-2111	082-285-7773
岡山機器サービスステーション	〒700-0951 岡山市北区田中606-8	086-242-1900	086-242-5300
中四国支社 四国支店	〒760-0072 高松市花園町1-9-38	087-831-3186	087-833-1240
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-12-16	092-483-8208	092-483-8228